上部消化管検査(バリウム検査)問診票

受診日 年 月 日

氏名 様 性別 男性 ・ 女性 生年月日 年 月 日

①	今までに、バリウム検査を受けたことがある	はい	いいえ
②	今までに、発泡剤で気分が悪くなったことがある	はい	いいえ
③	今までに、胃の部分切除手術を受けたことがある 【はい】の方：発泡剤やバリウムの使用量・撮影方法が変わり、検査順序が前後する場合があります	はい	いいえ
④	今回、何らかの手術を受けた後、初めてのバリウム検査である 手術日 : 年 月 日 病名・手術名： ※手術時期・手術内容によっては、検査が行えない場合があります	はい	いいえ
⑤	胃部の自覚症状がある	はい	いいえ
⑥	補聴器を使用している	はい	いいえ
⑦	ペースメーカー、ループレコーダー（植込み型心電図）、持続型血糖測定器（リブレ等）を使用している	はい	いいえ
⑧	今までに、誤嚥や誤嚥性肺炎を起こしたことがある 液体を飲む際におせやすい	はい	いいえ
⑨	現在、授乳中である 【はい】の方：下剤の成分が一時的に母乳中に含まれるため、検査後24時間の断乳ができない場合は検査を受けることができません	はい	いいえ

下記に該当する方は検査を受けることができません（胃部検査については、事前にお電話にてご相談ください）

⑩	体重が120kg以上である	はい	いいえ
⑪	現在、妊娠中または妊娠の可能性がある	はい	いいえ
⑫	今までに、バリウム検査でアレルギー症状が認められたことがある ※蕁麻疹・気持ちが悪い・手足が冷たくなる・のどが詰まる・息苦しい 等	はい	いいえ
⑬	自分の力で立っていること、検査中の体位変換や体勢を維持することが困難である	はい	いいえ
⑭	検査日より3ヶ月以内に大腸ポリープを切除した（ポリペクトミー・EMR・ESD）	はい	いいえ
⑮	検査日より1年以内に開腹・開胸手術（腹腔鏡・胸腔鏡含む）を行った	はい	いいえ
⑯	便秘症で、検査前3日以上排便がない	はい	いいえ
⑰	腸閉塞・消化管穿孔（穴があく）の既往歴がある	はい	いいえ
⑱	人工肛門である	はい	いいえ
⑲	現在、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、大腸憩室炎、消化管（胃・大腸）の悪性腫瘍（がん）にて通院中、治療中である	はい	いいえ
⑳	現在、大動脈瘤、大動脈解離にて通院中、治療中である	はい	いいえ
㉑	虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞等）、脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等）で1年以内に発作があった	はい	いいえ
㉒	透析中、または慢性腎疾患や心不全で水分制限がある ※検査による水分量は、目安としてバリウム150ml、検査後に1.5Lの水分摂取を推奨しています	はい	いいえ
㉓	ICD（植込み型除細動器）、インスリンポンプ、脳圧亢進でシャントの装着がある	はい	いいえ

上部消化管検査(バリウム検査)同意書

私は消化管造影検査の目的及び、危険性について検査説明書を読んだ上、様々な副作用の起こりうることを理解しました。診断のための必要性と危険性を考慮した上で検査を受けることに同意いたします。また、副作用がみられた時は必要な処置を受けることを承諾いたします。

伊奈病院病院長 殿

同意日（西暦） 年 月 日

署名（本人）

裏面も必ずお読みください

上部消化管検査（バリウム検査）の説明書

【胃透視検査とは】

胃透視検査は、食道や胃・十二指腸の粘膜や形を撮影し、病変の有無を診断する検査です。

この検査ではまず、空になって縮んでいる胃を、発泡剤（胃を膨らませる粉薬）を飲むことで本来の大きさへ膨らませます。その後、バリウムという造影剤を飲み、身体を動かすことで胃の粘膜にバリウムを付着させ撮影を行います。空になっている胃は縮みやすく、検査途中でゲップが出ますと膨らんだ胃の形が崩れ、病変と同じように見えてしまう写真になる場合があります。ゲップが出そうなときは、アゴを引き、ツバを飲み込むようにして我慢してください。もし、胃の膨らみが足りない際には発泡剤を追加させて頂く場合がございます。

【検査前日の飲食について】

胃の中に食べ物や水分が残っていると、バリウムが付着しにくくなり、誤診の原因となります。検査前日の **20 時まで**には食事を済ませ、それ以降は何も食べないようにしてください。また、アルコールや唐辛子等の刺激の強い食べ物、肉や油を使った食事は極力避けてください。

【検査当日の飲食・喫煙について】

起床後、検査終了までは飲食ができません。喉が渴いたときはうがい程度にしてください。日常的に服用している薬については、事前に主治医へご相談ください。また、喫煙者の方は、検査当日の朝から検査終了まで、喫煙を我慢してください。

【圧迫検査について】

検査途中で、円い筒を使用しお腹を押す撮影があります。骨折の原因となることもありますので、肋骨やみぞおちの骨に当たっている場合、痛みや苦痛がある場合は、我慢せずに撮影担当者にお申し出ください。

【検査後に気を付けていただくこと】

バリウムは、お腹の中で水分が吸収されることで固まりやすくなり、排泄され難くなります。そのため、稀に腸閉塞、腹膜炎、胃や腸に穴が空くなどの重篤な症状を引き起こすことがあります。そのため、検査終了時に下剤をお飲みいただいております。

更に、できるだけ早くバリウムを排泄させるため、以下の点に注意してください。

- ◆検査後は、水分を 1.5L 以上お飲みください。
- ◆便意を感じなくても、定期的にトイレに行くよう心がけてください。
- ◆検査後の 3~4 日間は、通常の便になるまでの排便状況を確認し、バリウム便（白色便）が排泄されない場合や、24 時間以上排便がない場合、嘔吐・腹痛・お腹が張って苦しいなどの症状が出た場合には、すぐに病院へご連絡ください。

ご不明な点がございましたら、健康管理センターまでお問い合わせください。

医療法人社団 愛友会 伊奈病院

健康管理センター

TEL 048-723-6071（直通）